北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄

利用のてびき

2026年10月改訂



北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄

（指定管理者　株式会社オカモト）

〒089-3734　北海道足寄郡足寄町常盤3番地

TEL　0156-25-6111　　FAX　0156-25-6112

E－mail　napal-ashoro@okamoto-group.co.jp

URL　https://okamotopbc.jp/napal-ashoro

目　　次

ネイパル足寄について　・・・・・・・・・　３

利用までの手順　・・・・・・・・・・・・・・　４

利用料金について　・・・・・・・・・・・・・　５

利用計画書の作成について　・・・・・・・・・　７

食事注文について、事前打合せ・事前準備　・・　８

健康・安全について　・・・・・・・・・・・・　１０

ネイパル足寄に到着したとき　・・・・・・　１２～１３

ネイパル足寄での生活　・・・・・・・・・　１４～１８

ネイパル足寄を出発するとき　・・・・・・　１９

近隣施設の減免について　・・・・・・・・・・　２０

◇ 活動資料　・・・・・・・・・・・・・・・・　２１～３５

◆ 愛称「ネイパル足寄」について

「ネイパル」の由来は、「自然（nature）ネイチャー」と「仲間（pal）パル」を組み合せた造語で、大自然に親しみ、仲間とともにのびのび活動すること、そして道民に親しまれる施設になることへの思いが込められています。

◆ 所章について

伝説の「蕗の下の人」コロポックルを連想させるラワンぶき、希望の朝日、十勝の広大な自然を表す山と湖と川。そして私たちの夢の広がりと友情が自然に囲まれていることを表しています。

（平成９年４月３日制定　作図：茂木彩葉（もぎあやは）さん）

ネイパル足寄について

１　環　境

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄（愛称：ネイパル足寄）は、十勝平野を眺望する豊かな自然環境の中で、集団宿泊体験や自然体験などの様々な活動を通じ青少年の健全育成を図ることを目的に、平成９年に設置されました。

周辺には秀峰雌阿寒岳、神秘の湖オンネトーのほか、世界的にも珍しいマンガンが生成される滝や、湧出した地下水の鉱物質が沈澱してドーム状に成長するシオワッカ、北海道遺産のラワンぶき圃場などがあり、多彩な活動が楽しめます。

２　北海道立青少年体験活動支援施設のめざす姿

心豊かにたくましく生きる子どもを育む

自然とのふれあいや集団生活を通して、自ら考え行動できる能力を培い、
心豊かにたくましく生きる子どもを育てます。

- ◆ 自然と親しむ活動から自然の不思議さや生命の尊さを学びましょう。
- ◆ 仲間と協力する活動から思いやりの心を育みましょう。
- ◆ 自らチャレンジする活動からたくましく生き抜く力を培いましょう。

３　利用について

（１）利用できる団体

ネイパル足寄は、宿泊研修や部活動をはじめ、子ども会、青少年団体、社会教育団体などの研修を目的とする利用のほか、家族や友人、グループ、高齢者団体や企業などの交流を目的とした利用ができます。５人以上での利用が原則ですが、少人数での利用も可能です。

※ 原則高校生以下のみでの利用はできません。（利用時は保護者の同伴をお願いします）
（ただし、日帰り利用はその限りではありません。）

（２）休業日

○ 12 月 29 日から翌年１月３日まで
※施設整備等で臨時休業の際は HP でご案内します

（３）到着・出発時間

○ 到着・・・概ね９時以降１７時まで
○ 出発・・・概ね９時以降
※活動・研修の内容により、１７時以降の到着、９時前の出発もご相談に応じます。
※施設警備の関係上 21：30～6：30 までの時間は施設を全面施錠しております。
この時間施設への出入りは出来かねますのでご了承ください。

利用までの手順（例）

１　利用の問い合わせ・予約

電話等で希望月日・人数・活動の概要・代表者・連絡先などをお知らせください。

○ 宿泊利用は、原則利用日の１年前～２０日前までに予約をしてください。初日（1 泊目）が予約受付期間内であれば、２泊目以降の日程もまとめて一度にご予約いただけます。

例：2026 年（令和８年）９月 30 日時点では、2027 年（令和９年）９月 30 日チェックインからの連泊日程をご予約いただけます。

○ 日帰り利用は、原則利用日の２０日前から予約受付いたします。

２　利用申込書などの送付

予約が完了した団体には、利用のてびきや利用申込書などの関係書類をお送りします。（ホームページからダウンロードできない場合のみ）

３　事前打合せ

ネイパル足寄での生活の仕方や活動内容などについて事前打合せを行います。必要に応じて館内の下見や活動コースの実地踏査、プログラム体験を行ってください。

４　利用申込書の提出

事前打合せに基づいて利用計画を作成し、Ｅメール、郵送、ＦＡＸ等で利用申込書等を利用日の２０日前までにご提出ください。

５　利用のお願い・部屋割りなどの送付

ネイパル足寄から「利用のお願い」「部屋割り（宿泊配置図）」などの関係書類をお送りします。

※宿泊配置図内での部屋割りは、各団体で行ってください。

６　事前指導

当日の活動がスムーズに行えるように、事前に必要な指導やオリエンテーションなどを行ってください。

７　人数や食事数等の変更連絡

利用申込書提出後に人数や食事数、創作活動の材料数などに変更が生じた場合は、速やかに連絡してください。

８　ネイパル足寄到着！

○宿泊利用の予約は利用希望日の１年前から受付いたします。

○予約は８：４５から17：３０までにお願いします。

○日帰り利用の当日申込は活動内容や活動場所の空き状況に応じて対応します。

○複数団体で予約の受付時間（８：４５）が重なった場合の優先順位は、来所→電話→その他（メール・FAX 等）の申込方法の順となります。

○予約が混み合います４月～９月の予約については、可能な限り、電話または来所での予約をお勧めします。

○遠方からのご利用や簡単な活動プログラムの場合は、電話等による事前打合せでも構いません。

○関係書類は、ネイパル足寄のＨＰでダウンロードできます。

○ＦＡＸでご提出の場合は、受信確認の電話をお願いします。

○他団体と活動場所などの調整後、関係書類をお送りいたします。（活動場所等が重なっている場合、調整のためのご連絡をさせていただく場合があります）

○YouTube のネイパル足寄のチャンネルに「ネイパル足寄施設利用」「野外炊飯の仕方」「テントの組み立て方」等の動画がアップされています。必要に応じて事前に活用してください。

利用料金について

１　利用料（宿泊料）

区　　分	利用料（宿泊料）
小学生未満（４歳以上）	１人１泊につき　　１５０円
小・中学生	１人１泊につき　　４５０円
高校生・高等専門学校生・短大生・大学生	１人１泊につき　　６００円
一般（保護者及び引率者）	１人１泊につき　１，４００円
一般（その他の方）	１人１泊につき　１，８００円

※　北海道宿泊税条例の施行に伴い、2026 年４月より上記宿泊料金とは別に「宿泊税（宿泊者１人１泊につき 100 円）をお支払いいただきます。なお学校の宿泊研修等は所定様式の提出で課税免除となる場合があります。詳細は右の二次元コードよりネイパル足寄 HP 掲載の通知をご確認ください。

※　日帰りの利用は無料です。

※　下記のいずれかに該当する利用者は、施設利用料が免除となります。
ネイパル足寄 HP より「利用料免除申請書」をダウンロードし、必要事項を記入の上ご提出ください。

第１号	【就学援助（要保護）】 就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律（昭和３１年法律第４０号）による就学奨励を受けている保護者の保護する児童及び生徒 ※ 準要保護家庭は第８号で申請してください。
第２号	【特別支援学校・特別支援学級】 特別支援学校の児童及び生徒並びに小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）及び中学校（義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を含む。）の特別支援学級（学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第８１条の特別支援学級をいう。）の児童及び生徒並びにその引率者
第３号	【児童福祉施設】 児童福祉法（昭和２２年法律第１６４号）第７条第１項に規定する児童福祉施設に入所し、又は通園している少年及びその引率者
第４号	【身体障害】 身体障害者福祉法（昭和２４年法律第２８３号）第１５条第４項の規定による身体障害者手帳の交付を受けている者及びその引率者 ※「身体障害者手帳」を利用日当日の事務打合せ時にコピーする。
第５号	【生活保護】 生活保護法（昭和２５年法律第１４４号）による保護を受けている児童及び生徒 ※「市町村長、福祉事務所長又は民生委員の証明書」を利用申込書とともに提出する。
第６号	【知的障害】 児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター若しくは障害者職業センターの長又は精神保健指定医により知的障害者と判定された者及びその引率者 ※「知的障害者（児）福祉施設長の証明書」を利用申込書とともに提出する。または、利用日当日の事務打合せ時に「療育手帳」をコピーする。
第７号	【精神障害】 精神保健福祉センターの長、精神保健指定医又は精神科を標ぼうする医師により精神障害者（知的障害者を除く。）と判定された者及びその引率者 ※ 保健所長、精神保健センターの長等の証明書を利用申込書とともに提出する。
第８号	【その他】 その他北海道教育委員会教育長が必要と認める者 ※ 準要保護家庭の小・中学生 ※（フリースクール等民間の相談・指導施設の引率者等）…北海道教育委員会が実施しする調査に基づいて、調査票を提出している施設に限る。

２　食事代

（１）食事館での食事（普通食）

区　　分	朝　食	昼　食	夕　食
小学生以上	７００円	７００円	１，０００円
未就学児	５００円	４５０円	７００円

（２）お弁当

弁　　当	幕の内弁当	おにぎり弁当（６～９月は赤ジソふりかけ弁当）
１食あたり	８００円	６５０円

※おにぎり弁当は６月～９月までは赤ジソふりかけ弁当になります。
（野外炊飯単品食材のおにぎり単品は対応可）

３　材料費

（１）創作活動

活　　動	料　金	備　　考
七　宝　焼	900 円	キーホルダー
陶　芸（1 ｾｯﾄ２人分）	900 円	粘土 1kg
おがカラー	200 円	
フォトスタンド	300 円	
焼き板クラフト	300 円	
木の実クラフト	300 円	
羊毛クラフト（コースター）	100 円	
羊毛クラフト（キーホルダー）	200 円	
マイ箸づくり	300 円	
木のバッグタグ	150 円	
レジン工作	500 円	レジン液、着色剤、封入物
うどんづくり（８人分）	2,000 円	強力粉、打ち粉、塩、めんつゆ
ワックスボールづくり	300 円	
熊鈴づくり	800 円	

野外活動 ※一部屋内活動	料金	備考
着火剤	200 円	１袋（２シート６本）
木炭	800 円	３ｋｇ（８人用程度）
焼肉用アルミ板	110 円	バーベキューコンロに１枚～２枚程度
ガスコンロ（1 口）	250 円	ガス付き（ガスを持ち込む場合は無料）
ファイヤーストーム	1,400 円	ｷｬﾝﾌﾟﾌｧｲﾔｰ用薪 8kg 程度
キャンドルの集い	10 円	ローソク１本（屋内活動）
原始火おこし体験	1,100 円	１セット４～５人用（火おこし器、ランプ、麻紐　等）

（2）野外炊飯

	品　名	料　　金　（一人前）	内　　訳
セットメニュー	お米	200 円	生米（120ｇ×人数分）
	カレー	500 円	豚肉、玉ねぎ、カレールー 人参、ジャガイモ
	シチュー	500 円	豚肉、玉ねぎ、クリームシチュールー、 人参、ジャガイモ
	豚汁	600 円	豚肉、玉ねぎ、コンニャク、ジャガイモ、ごぼう、みそ、人参、とうふ、大根、長ネギ
	焼きそば	450 円	麺（1 玉×人数分）、豚肉、キャベツ、 もやし、人参、ピーマン、粉末ソース
単品食材・調味料	焼きそば	100 円	麺のみ（150ｇ）
	お茶	180 円	
	おにぎり	1個　230 円	うめ、かつおから選択
	塩こしょう	300 円	小型びん
	サラダ油	450 円	４００ｍｌ１本
その他	割りばし	250 円	５０膳
	食器用洗剤	250 円	２７０ｍｌ１本

※おにぎり弁当は６月～９月までは提供していません。（おにぎりの単品は対応可）

※セットメニューはグループの人数に合わせて変更可能です。（例）５人用×１、６人用×３
実施日が近づいている場合は変更をお断りする場合があります。ご了承ください。

４　お支払い

利用料、創作活動材料の料金は、利用最終日の８：４５以降に現金でお支払いください。

また、食事代、野外炊飯の材料費は、宿泊を伴う場合は食事をされる際に、食事館にて直接食事提供業者にお支払い下さい。日帰り利用の野外炊飯は、食材受け取り時に直接食事提供業者にお支払い下さい。

なお、お支払いの後納（振込）並びに領収書の明細分けは相談に応じます。領収書の明細分けが必要な場合はその概要を作成し、事前にご連絡をお願いします。

利用計画書の作成について

＊ 計画書を作成する際の参考としてください。

１　条件の確認と分析を

対象者の人数や男女比、現在の課題、研修を実施する季節や日数、引率スタッフの人数や指導力、予算など、研修の条件を確認してから計画を立てましょう。

２　ねらいに即したプログラムに

ネイパル足寄の利用では「体験を通してどのような力をつけたいか」が最も大切です。どの活動を通して何を体験したい（させたい）かを考え計画を立てましょう。（Ｐ１５～を参照）

３　ゆとりのあるプログラムを

限られた時間の中でより有効な活動を行うためには活動を絞り込むことが必要です。安全に活動するためにも、ゆとりのあるプログラムを作成しましょう。

４　利用団体の自主企画・自主運営が基本です

企画したプログラムは、職員との事前打合せや活動の事前体験・下見などを通して練り直すとともに、指導者間で十分な共通理解を図り、利用当日に主体的に運営できるように努めましょう。

※前回利用時と同内容での利用計画を希望される場合でも、混雑状況等により、職員から調整のご相談をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。

「標準生活日課」

<table>
<tr><td colspan="12">6:30　7:00 7:30　　8:45　9:00　　12:00 13:00　　17:20　　19:00　　21:30 22:00</td></tr>
<tr><td>起床

床面</td><td>朝のつどい</td><td>朝食</td><td>荷物移動</td><td>部屋清掃</td><td>点検</td><td>支払い</td><td>活　動</td><td>昼食</td><td>活　動</td><td>団体代表者顔合わせ</td><td>夕　食

入　浴</td><td>活　動</td><td>就寝準備</td><td>就寝</td></tr>
</table>

「標準生活日課」はあくまで目安であり、この限りではありません。

食事注文について

1　食事の注文

○「食事数申込書」に希望数を記入して利用申込書と一緒に提出してください。

○アレルギーなどについては必ず事前にお知らせください。

（食物アレルギー連絡票を提出ください）

○食事（食堂・お弁当）注文数が、他団体と合わせて５食以下の場合は、提供できません。

○食事数を変更する場合は食事提供業者及びネイパル足寄に連絡してください。数量やご連絡いただく期日によってはキャンセル料が発生する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※キャンセル料

	変更受付日		
	食事利用日の前日の１７時以降	食事利用日の２日前～前日の１７時	食事利用日の３日以上前
10 食以上の取消	100%	50%	-
10 食未満の取消	100%	-	-

事前打合せ・事前準備

1　事前打合せ

○ 活動プログラムの作成にあたってネイパル足寄の職員と事前打合せを行います。

※ 事前打合せの際には、活動計画（タイムテーブル）の素案等があれば、ご持参ください。

※ 事前打合せは、可能な限り直接ネイパル足寄に来所されるのが望ましいですが、電話やオンラインでの打合せも可能です。

※ 来所される場合は、必ず希望日時を事前にお知らせください。当日、急に来所されても職員が対応できない場合や、希望する創作活動の材料が揃わない場合があります。

（主な内容）

○　施設の使い方や設備・備品等について

○　生活のきまりや到着から出発までの流れについて

○　利用計画の作成について

○　活動プログラムの体験、下見について

○　緊急時の対応について

○　その他（料金・交通手段・駐車場・他団体の利用状況など）

2　事前準備

○ 利用日までに団体内で以下の事柄について確認をしてください。

（1）ネイパル足寄での生活の心得について

○　自分のことは自分で　　○　団体同士互いに尊重

○　使用した場所や物品はもとどおりに

（2）施設の使い方について

Ｐ１４～１８の「ネイパル足寄での生活」を参考にしてください。

（3）持ち物について

□ 上靴　□ 洗面道具　□ 入浴道具　□ 救急箱　□ドライヤー　□ハンカチ
□ 活動に必要な道具（活動資料参照）　□ ゴミ袋（透明または半透明）

（4）野外活動を実施する場合の服装・持ち物について（基本）

（服　装）
〇帽子　〇長袖・長ズボン（直接、肌が露出するのを防ぐ）
〇季節に応じた上着・重ね着
〇シャツ及び下着は化繊のものが望ましい。（綿 100%は、汗が乾きにくい）
〇はき慣れた運動靴やトレッキングシューズ等（底がすり減っていないもの）
（持ち物）
〇雨具（できるだけ上下セパレートのもの）　〇虫除け
〇水筒（空ペットボトルに水で充分です）　〇ハンカチ　〇タオル　〇ティッシュ

※ 活動プログラムによって持ち物や服装は違います。不明な点は担当者に問い合わせてください。

健康・安全について

1　事前確認

（1）危険の予知

○ 想定できる危険を予知し、そのための対応策を考えてください。また、その対応策は事前に引率者間で共通理解を図ってください。

（2）参加者対応

○ 参加者の健康状態について十分把握しておいてください。

○ 健康保険証（写し可）や、応急医薬品を準備してください。

○ 必要のある人には常備薬を持たせてください。

○ 食物アレルギーについては、確認の上、ネイパル足寄に事前に連絡してください。（「食物アレルギー連絡票」の提出が必要です。）

○ 参加者には自分の身は自分で守るという原則のもと「自己責任」の意識を持たせてください。

○ 参加者が未成年の場合は、保護者に活動の趣旨、内容をきちんと伝えた上で参加してください。

（3）緊急体制づくり

○ 団体内で緊急時に対応できるよう準備と体制を整えてください。

○学校が宿泊研修等で利用する場合は、<u>養護教諭の随行と緊急用車両の準備が望ましいです。</u>
○傷病者を医療機関へ搬送する場合は、救急車を依頼するか、利用団体が所有する車両もしくは町内のタクシーで足寄町国民健康保険病院への搬送となります。
町内タクシーの営業時間　＜金・土＞　７：３０～　１：００
＜それ以外＞　７：３０～２４：００

○足寄町国民健康保険病院には、保険証の写し（コピー）でも診察可能との確認はとれています。

○ネイパル足寄では、風邪薬等の内服薬は備えておりません。

○救急セットは団体で用意してください。

○ネイパル足寄は「ＡＥＤ」（自動体外式除細動器）設置施設です。緊急時は事務室までお越しください。

○24 時間緊急病院として足寄町国民健康保険病院とは連携がとれています。

○特に野外活動の際、傷病を持つ児童・生徒を館内に残す場合は、必ず引率者を配置してください。（児童・生徒一人を残すことがないようにしてください）

○利用のてびき添付資料を参照してください。また、各宿泊室備付けのファイルにも避難経路図がありますので利用当日ご確認ください。

2　利用期間中の傷病について

（1）傷病者が医療機関にかかる場合の搬送は、各団体で行ってください。

（2）重大な傷病が発生した場合は、直ちに事務室へ連絡してください。

（3）夜間（17：30 から翌朝８：４５）に傷病が発生し、医療機関へ搬送の必要がある場合は、当所の警備員に状況を報告し、団体の責任者が直接「足寄町国民保険病院」に連絡してください。

3　利用期間中の災害時の対応について

（1）万一の時に備え、利用初日には必ず非常口や避難経路の確認をしてください。

（2）火災や地震などの災害が発生した場合は、職員の指示に従い、責任者（引率者）は団体の利用者の掌握と安全確保の上、避難してください。

４　医療機関・関係機関連絡先

● 足寄町国民健康保険病院	TEL０１５６－２５－２１５５
● 足寄消防署	TEL０１５６－２５－２６１９
● 本別警察署足寄交番	TEL０１５６－２５－２１５１
● 本別警察署	TEL０１５６－２２－０１１０
● 足寄タクシー	TEL０１５６－２５－２６６６
● 足寄町総合体育館	TEL０１５６－２５―３１９１
● 足寄町町民センター	TEL０１５６－２５―３１８８

ネイパル足寄に到着したとき

1　到　着

○ 乗用車・バスで来所の方は、ネイパル足寄駐車場（エントランスドーム横）で下車し、入館してください。

※ 集いの広場（玄関前のレンガ部分）へのバスの乗り入れはご遠慮願います（事情がある場合を除く）。

○ 到着後、団体の責任者（担当者）は事務室へご連絡ください。

○ 団体名表示のある靴箱を使用し、上靴に履き替えて入館してください。

※ 玄関内の緑のカーペットの上は土足禁止です。

2　出会いのつどい

○ 到着した団体を歓迎するとともに、ネイパル足寄での生活とこれからの活動に対する心構えや意欲を喚起することを目的として行います。内容は利用団体の創意工夫にお任せします。

出会いのつどい（例）　※進行は各団体でお願いします。

① 開会のことば
② ネイパル足寄から歓迎のあいさつ
③ 利用団体代表者のあいさつ・オリエンテーション（事前に動画視聴の場合は割愛可能）
④ 閉会のことば

3　担当者打合せ

○ 出会いのつどい後または活動に入る前に担当者はネイパル足寄の職員と打合せを行います。

打合せ事項

○ 利用人数、食事数、創作活動材料数などの確認
○ 活動プログラムの確認（場所・時間・内容・使用物品など）
○ ネイパル足寄利用の仕方についての確認
○ 部屋点検の時刻、方法の確認
○ 料金の支払いについて（支払い方法・時刻・場所などの確認）
○ その他（宿泊室の鍵、利用者アンケート等の受渡し）

⇦ 日帰り利用団体は、担当者打合せ後、各活動へ

4　宿泊室への移動

○ 割り当てられた宿泊室へ移動してください。

※ 午前中は清掃のため宿泊室に入れません。団体の荷物は指定された場所に置き、13:00 以降に入室してください。

５　シーツ・枕カバーの貸出し　<u>１人分：シーツ２枚・枕カバー１枚</u>

○ 各団体でシーツ貸出所から宿泊室へ運んでください。

※ 長期宿泊の場合は、６月～９月は２泊、10 月～５月は３泊を目安に、利用者で交換することができます。（毎日の交換はできませんのでご注意ください。）

※ シーツ・枕カバーに汚れがあった場合は、団体の担当者を通して事務室に連絡してください。

６　各プログラムへ

※上記は一般的な到着の流れです。場合によっては順番が前後することもあります。

ネイパル足寄での生活

1　標準生活日課

<table>
<tr><td colspan="12">6:30　7:00　7:30　　8:45　9:00　　12:00 13:00　　17:20　　19:00　　21:30 22:00</td></tr>
<tr><td>起床

床面</td><td>朝のつどい</td><td>朝荷物移動食</td><td>部屋清掃</td><td>点検支払い</td><td>活　動</td><td>昼食</td><td>活　動</td><td>団体代表者顔合わせ</td><td>夕　食</td><td>活　動</td><td>就寝準備</td><td>就寝</td></tr>
<tr><td colspan="9"></td><td>入　浴</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※ 「標準生活日課」はあくまで目安であり、この限りではありません。

野外炊飯・ファイヤーストームなどの点検について

点検は引率者（担当者）の責任において実施してください。17:30 以降は職員が不在となるため、まずは団体内で点検を完了させてください。

翌朝、職員立ち会いのもと最終点検を行うことを原則とします。

※出発や翌朝の活動に支障が出ないよう、余裕を持って後片付けを行ってください。

※清掃活動は、次に使う方への配慮（思いやり）を学び、自分たちの活動に最後まで責任を持つ「自立心」を育む大切な教育課程として捉えています。ご協力をお願いします。

2　朝のつどい

つどいは、団体の活動目的により実施の有無を判断していただいています。職員は同行しません。

（1）進行例：朝のつどい　　７：００～７：３０

ねらい：清々しい雰囲気の中、今日一日の生活への意欲を喚起する。

① 開会のことば
② ラジオ体操（第１）※日本語版と英語版の２種類から選択可能
③ 代表によるスピーチ（今日の活動の抱負やお別れのあいさつ）
④ 諸連絡
⑤ 閉会のことば

3　生活について

（1）宿泊室

- ○ 入室時に、宿泊室内の寝具や照明、時計、清掃用具の異常や不備等に気づかれたら、団体の代表者を通して事務室に連絡してください。
- ○ 寝具のたたみ方や室内の清掃手順などの写真が壁に貼ってあるので確認してください。
- ○ 室内の清掃、整理整とん、換気等を心がけてください。
- ○ 割り当てられた部屋以外の宿泊室には立ち入らないでください。
- ○ 全員が宿泊室を出るときや就寝時は、節電にご協力ください。
- ○ 貴重品の取り扱いは、各団体の責任のもとに管理してください。
- ○ 持ち込みのドライヤーやヘアーアイロンは宿泊室では使わず、洗面所でお使いください。（各洗面所　２台まで使用可）
- ○ 寝具の上での飲食はしないでください。
- ○ ネイパル足寄には「寝巻き」や「ゆかた」の備付けはありません。必要な場合はご持参ください。

○ 退室の際は換気扇をつけ、部屋のカギは施錠しないでください。
○ パーテーションを使用した団体は、退室までに元の状態に戻してください。
○ 室内は飲酒厳禁です。また、施設敷地内全面禁煙となっております。

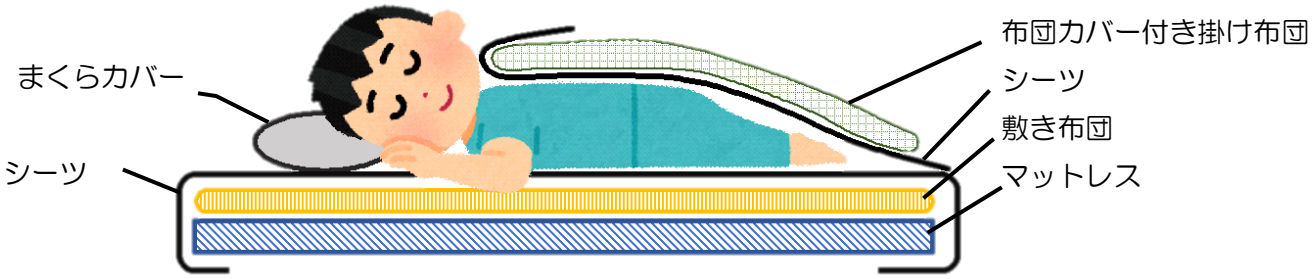
※ 冬季の暖房調節は利用団体で行ってください。
長時間宿泊室を離れる時やご出発の際は、
５月～９月は夏場は「—」に、１０月～４月
は「＊」印にそれぞれダイヤルを合わせて
ください。



（２）寝具

○ 使うとき（ベッドメイク）

※ シーツ２枚と枕カバー１枚を必ず使ってください。



上のイラストのように、シーツとシーツの間に寝るようにしてください。

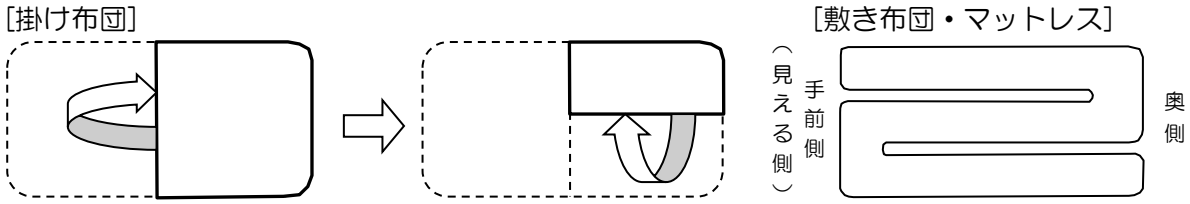
※寝具の汚れに気づいたときは、団体の代表者を通して事務室に連絡してください。

※シーツ貸出所に毛布を用意しております。使用後は戻してください。

○ 片付けるとき

・滞在中は毎朝寝具の整とんをし、快適な生活を心がけましょう。
・部屋によって、寝具の収納方法が異なります。各部屋に掲示してある写真を参考にしてください。

＜寝具のたたみ方＞



※ 掛け布団の白いカバーははずさないでください。

３つ折にします。

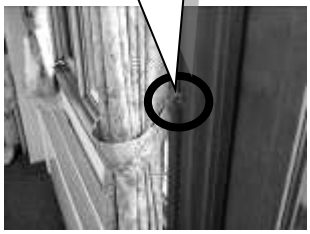
シーツはたたまずに部屋ごとに風呂敷包みにまとめる
→シーツ貸出室返却



きれいにそろえましょう



帯をしっかりとめましょう



ベットのカーテンも帯をしっかりとめましょう



※各室２本・６本・８本のいずれか

（3）宿泊室・活動場所の整理整とん・清掃

○ 各部屋に掃除機がありますのでご利用ください。（その他必要に応じて、バケツ・ぞうきん・ほうきなどが各階の掃除ロッカーにありますのでご利用ください。）

○ 利用最終日には、宿泊室内の「宿泊室点検表」や写真などを参考に宿泊室の整理整とんを行い、引率者（担当者）が必ず点検してください。

○ 各活動で使用した場所の清掃、物品の整理整とんも必ず行ってください。

○ 施設・備品の破損があった場合は引率者（担当者）を通して事務室に連絡してください。

宿 泊 室 点 検 表

	項　　目	ﾁｪｯｸ	内　　容
1	シーツ・枕カバーを戻しましたか。		シーツ貸出所に戻す。
2	寝具はきちんと整理されていますか。		写真を見て確かめる。
3	暖房のダイヤルは元に戻しましたか。		ダイヤルの位置を確認して戻す。
4	掃除機をかけましたか。		掃除機を使って掃除をする。
5	電気は消してありますか。		スイッチを切る。
6	ハンガーやカーテンは整理されていますか。		写真を見て整理整とんする。
7	窓のカギを閉めましたか。		鍵をかける。
8	忘れ物はありませんか。		もう一度確かめる。

（4）ゴミの処理

○ 当施設では環境保全と施設衛生維持のため、**2026 年 4 月 1 日よりゴミ処分の運用ルールを改定し、ゴミの持ち帰りを原則としています** 。施設での処分を希望される場合は、以下のルールを遵守してください。

【重要】ゴミ処分の有料化および運用ルール改定のお知らせ

日頃よりネイパル足寄をご利用いただき、誠にありがとうございます。 当施設では、環境保全と施設衛生の維持を目的とし、**2026 年 4 月 1 日**よりゴミ処分の運用ルールを以下の通り改定させていただきます。

本改定に伴い、当施設では**ゴミの持ち帰りを原則とさせていただきます。**施設での処分を希望される場合、有料での対応となります。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 改定日

2026 年 4 月 1 日（水）より

2. ゴミ処分料金およびルール

ゴミの回収を希望される場合は、以下の料金を申し受けます。

◎処分費用： 1 袋につき 550 円（税込） ※ゴミ袋のサイズや重さに関わらず、1 袋ごとの一律料金となります。

◎ゴミ袋について： 原則として**ゴミ袋は各自でご持参ください。** お忘れの際は、受付にて販売も行っております（10ℓ・45ℓ・90ℓ　大きさに関わらず 1 枚 110 円）。

※野外炊飯の材料をネイパル足寄に注文している場合は、野外炊飯時のゴミに限り無料で処分いたします。材料を持ち込む場合は、他のゴミと同じく上記料金が適用されます。

【ゴミの区分（6 種類）】

①燃やせるゴミ、②燃やせないゴミ、③生ゴミ、④ペットボトル、⑤缶、⑥ビン ※区分ごとに袋を分けてください。それぞれに処分費用（550 円/袋）が発生します。なお、分別されていない場合は、お引き取り出来かねます。

【処分にあたっての注意点】

◎処分： 処分を希望されるゴミは、施設敷地内のゴミ庫へ**団体名を記入の上、**各自でお持ち込みください。

◎生ゴミ： 室内やベランダに放置せず、都度処分してください。一時保管が必要な場合は、袋に団体名を記入し、工作室裏の「生ゴミ一時保管 BOX」へ入れてください。捨てる際は水分を切り、袋を 2 重にして指定の場所へ捨ててください。

3. 館内ゴミ箱の撤去と自販機専用ゴミ箱について

有料化に伴い、施設内に設置していたゴミ箱はすべて撤去いたします。

◎自動販売機横のゴミ箱： 当施設の自販機で購入された飲料容器（缶・ペットボトル）のみ投入可能です。**その他のゴミは絶対に入れないでください。**

◎その他の場所： ゴミ箱の設置はございません。お持ち帰りいただくか、上記ルールに従ってゴミ庫へ運搬をお願いいたします。

（5）浴　室

○ 宿泊者が４名以下の場合、個室のシャワー室での入浴となります。

○ 入浴時間は原則として１７：３０から２１：３０までです。この時間外での入浴を希望する場合は、事前にご相談ください。

○ 入浴時間の割り振りは、利用団体が混み合っている場合、調整をさせていただくことがあります。

※引率者の入浴時間は、最終 25：00 まで可能ですが、23：30 に浴槽のお湯の循環が止まり、浴槽の温度が下がりますので、可能な限り早めの入浴をお勧めします。

○ 浴室にはボディーソープ・シャンプー・バスタオル・ドライヤー等の備付けはございませんので必ずご用意ください。

○ 入浴後は、椅子、湯おけなどの整理整とんを心がけてください。

○ 希望があれば、個室のシャワー室をお貸しします。利用時間は入浴時間と同じです。

（6）洗面所の使用について

○ 手拭き、布巾の設置はしておりませんので、必要であればご持参ください。

○ 共用コップはありませんので、持参してください。

（7）エントランスホール・ラウンジなど

○ 交流の場として自由にご利用ください。（利用時間６：３０～２１：３０）

（8）プレイホール（体育館）

○ ルール・マナーを守り、楽しく交流してください。
○ 安全のため、上靴をはいてください。
○ 飲食はできません。（水分補給は回廊または食事館でお願いします）
○ 活動後は、使用した用具は必ず除菌し、後片づけをしてください。
○ 用具の破損があった場合は、事務室に連絡してください。
○ ボールやバドミントンの羽を使用するときは、防球ネット（緑色のネット）を閉めてください。
○ ボールを蹴ることは禁止です。

（9）研修室

○ 活動プログラムにあわせて、利用団体が机・椅子を準備してご利用ください。

○ 使用後は原状回復をお願いします。

○ 視聴覚機器については、事前打合せ、又は到着後の打合せにおいて使い方を説明いたします。

○ 冬季の暖房調節は、利用団体が行ってください。活動終了後は、ダイヤルを「＊」印に合わせてください。

（１０）食事館

○ 全てセルフサービスです。配膳、食器の片付け、椅子の整とん、テーブル拭きなどを含めて衛生面に気を配り、楽しく食事をしてください。

○ 指定の時間に食事館へ移動してください。混雑時は食事時間を調整することがあります。

○ 団体ごとにまとまって食事をしてください。混雑時はテーブルを指定することがあります。

（１１）飲酒について

○ 飲酒を伴うプログラムは事前の申請が必要です。下記の留意事項を確認の上申請してください。学校団体の宿泊研修時の引率者による飲酒はいかなる場合も認められません。

○ 場　所	事前打合せ等で職員から指定された場所に限ること。 （宿泊棟での飲酒は一切禁止です。）
○ 時　間	１～２時間程度 （２２：３０までに終了すること。（後片付け含む））
○ 約　束	・喫煙をしないこと。（施設敷地内全面禁煙） ・他団体の研修や、就寝の妨げとなることがないこと。 ・未成年を引率している場合、１名以上飲酒をされない方をおき、緊急時に対応できる体制をとっていること。 ・翌日に運転をされる方は、酒気帯び運転とならぬよう十分な配慮をおこなうこと。 ・大学生等、未成年者が飲酒の場に同席する団体は、法律に基づき未成年者は飲酒しないよう徹底すること。 ・玄関施錠の 21:30 以降は外出できません。 ・飲酒後の入浴はご遠慮ください。 ・ゴミの分別、使用後の会場の換気をしっかりおこなってください。

（１２）喫煙について

○ 施設敷地内全面禁煙です。

（１３）コピーについて

○ ネイパル足寄ではコピーのサービスは行っておりません。必要がある場合、ネイパル足寄到着前に済ませておいてください。

（１４）その他

○ 利用期間中の外出や中途での到着・出発については、それぞれの団体で人数を把握し、当初予定と変更がある場合は事務室に連絡してください。

○ 施設・設備の破損または紛失があった場合は、速やかに事務室に連絡してください。（場合によっては弁償していただくことがあります。）

○ 利用者への電話の取り次ぎは緊急時以外では行っておりません。用件を伺い、折り返し連絡をとるようにお伝えしています。

○ 宿泊室の鍵を紛失した際は、実費（515 円）を徴収いたします。

○ 宿泊日の 17:20 頃に各団体担当者と夜間常駐警備員との打合せを行います。

○ ガムは施設敷地内全面禁止させていただいています。

ネイパル足寄を出発するとき

1　宿泊室の清掃および最終点検

（１）宿泊室

○ 引率者（担当者）の責任のもと、入室したときと同じ状態に清掃・整理整とんしてください。（原状回復）

○ 寝具等を汚したり、施設備品の破損があった場合は、引率者（担当者）を通して事務室に連絡してください。

※ テント泊の場合の清掃・片付け方法は事前打合せ時に職員が説明いたします。

（２）宿泊室・活動場所の清掃および最終点検の流れ

① シーツ・枕カバーの返却
○ シーツ・枕カバーはシーツ貸出所へ返却してください。
○ 団体の引率者（担当者）は、返却の確認を行ってください。

② 宿泊室の清掃
○ 野外炊飯やファイヤーストームなど、前日のプログラムの後片付けが不十分な場合、もう一度清掃を行ってください。

③ 荷物の移動
○ 朝９：００までに宿泊室の荷物を指定された場所に移動してください。

④ 引率（担当）者による点検
○ 「宿泊室点検表」（利用のてびきｐ１７）を参考に宿泊室・シーツ貸出所の整理整とん・清掃状況の点検を行ってください。
※ ベランダや宿泊室外の芝生へのゴミの投棄確認の点検及びゴミ拾いも併せて行ってください。

⑤ 点検完了
○清掃終了後、引率者（担当者）で自主点検を行ってください。
なお、最終確認は原則として職員による立ち会い点検といたします。
引率者の点検が完了しましたら、職員へお声がけください。

ネイパル足寄職員による点検

2　料金の支払い

○ 利用料、教材費などの利用料金は、利用最終日の８：４５以降に現金でお支払いください。
また、食事代は、宿泊を伴う場合は食事の際、日帰りの場合は食後、食事館にて直接食事提供業者にお支払いください。
後納（振込）の場合は事前にお知らせください。

⇦ 団体によっては活動プログラムへ

3　別れのつどい

○ ネイパル足寄での生活や活動について「ふりかえり」を行い、その反省や成果が今後の学校・家庭生活、地域活動に生かされるように意識化を図ります。内容は利用団体の創意工夫にお任せします。

別れのつどい（例）　※進行は各団体でお願いします。
① 開会のことば
② 利用団体代表者のあいさつ
③ ネイパル足寄職員からお別れのあいさつ
④ 閉会のことば

4　出　発

○ 「利用についてのアンケート」にご協力ください。部屋鍵は職員に直接手渡してください。
職員のいない時間は、警備スタッフに渡してください。

○ 近隣施設の減免について

1　里見が丘公園

区　　分		占有使用料 （1時間当たり）	電気料金（1時間当たり）
陸上競技場	全面	1,360円	
	半面	680円	
野球場	全面	2,670円	
サッカー場	全面	2,670円	
弓道場	1人	150円	

※テニスコートは使用停止中

2　総合体育館

区　　分		占有使用料 （1時間当たり）	暖房料（1時間当たり）
アリーナ	全面	16,290円	1,250円
	半面	8,170円	620円
	1/4	4,080円	310円
	1/8	2,040円	150円
第2体育館	全面	3,140円	310円
	半面	1,570円	150円
トレーニングルーム	全面	1,250円	150円

※暖房料は10/1～4月末の利用時にかかります。

3　温水プール

全館使用　30分につき	平日・土曜　6,390円		日曜・祝日　9,630円
会議室	午前　410円	午後　780円	夜間　780円

※ネイパル利用者は、足寄町内の各施設の占有使用料が上記金額より一般利用者は70%、高校大学生は80%、小学中学生は90%減免されます。

3　個人使用料

総 合 体 育 館　　一般200円　高校生以下100円

※占有使用料を支払う場合には個人使用料は徴収されません。

温 水 プ ー ル　　一般410円　高校生以下260円

パークゴルフ場　　無料

※詳細は足寄町総合体育館（0156-25-3191）にお問い合わせください。

※予約は直接、足寄町総合体育館に連絡してください。

活　動　資　料

○ 野外活動における「フィールドマナー」について（資料１）・・・Ｐ２４
○ 野外活動における「安全管理」について（資料２）・・・Ｐ２５
○ 活動プログラム一覧　（資料３）・・・Ｐ２６
○ 周辺の主な施設　（資料４）・・・Ｐ３２
○ 施設配置図　（資料５）・・・Ｐ３３
○ 館内見取図　（資料６）・・・Ｐ３４
○ 宿泊配置図　（資料７）・・・Ｐ３５
○ 館内設備案内　（資料８）・・・Ｐ３６

（資料１）

野外活動における「フィールドマナー」について

私たちは自然の中におじゃましています。自然に対して「ローインパクト」な活動に心がけましょう。

ローインパクトな活動とは、自然にやさしくダメージの小さい活動をすることです。それが、自然に対してやさしい人、ひいては心のやさしい人を育てることになります。

１　ゴミのポイ捨ては厳禁です。全て持ち帰りましょう。

２　植物の採集は控えましょう。そこにある美しさはそのままにしておきましょう。

３　観察・調査のために採集した生き物は、生きたまま放しましょう。

４　植物を傷つけたり、岩場に落書きをしたりしないようにしましょう。

５　餌付けはやめましょう。野生動物本来の営みをこわすことになります。

６　必要以外に大声を出すのはやめましょう。動物たちのストレスになります。

７　畑などの私有地へ許可なく入ったり、地元の人や周囲の人に誤解やストレスを与えるような行為はやめましょう。

（資料２）

野外活動における「安全管理」について

１　安全管理の基本的な考え方

○ 想定できる危険を予知し、そのための対策を徹底的に行いましょう。
○ 万が一の時を想定して対応策を練っておくとともに、引率者間で共通理解を図りましょう。
○ 参加者には、自分の身の安全は自分で守るという原則のもと「自己責任」の意識を持たせましょう。
○ 参加者が未成年の場合は、保護者に活動の趣旨、内容を正しく伝えた上で参加してもらいましょう。

２　参加者自身に安全対策の意識を

野外での活動は、子どもたちに危険を予知する能力、危険を回避する技術や行動力、態度などが、実体験を通して身に付く絶好の機会です。「危険だからやめなさい！」ではなく、参加者自身がどこにどのような危険が潜んでいるのか、何が危険なのか、どうすれば防ぐことができるのかなどについて、あらかじめ考える機会を作ったり、主体的に身を守る意識を持たせたりして活動に入りましょう。

３　危険の分類

① 動植物・・・・・・・・ハチ　蚊　ダニ（マダニ）ウルシ　毒キノコ　毒草　毒ヘビなど
② 気象条件・・・・・・・天候の急変　落雷　強風　台風　洪水　風雪　噴火など
③ 地形的条件・・・・・・転落　落石　急斜面　岩場　やせ尾根　狭い山頂など
④ 水的条件・・・・・・・水温　水深　水流　水中の障害物　低体温など
⑤ 活動技術・・・・・・・道に迷う　転ぶ　落ちる　くじく　溺れるなど
⑥ 用具の操作技術・・・・切り傷　やけど　刺し傷　爆発　一酸化炭素中毒など
⑦ 疲労や心理的要因・・・判断ミス　パニック　過度の興奮　精神的不安など
⑧ 健康状態と衛生管理・・発熱　生理痛　便秘　下痢　食中毒
⑨ 指導者側の過失・・・・無理な計画 下見の未実施 引率スタッフの共通理解不足 未熟な指導
⑩ その他の危険・・・・・移動の際の交通手段

４　事前にしておくこと

① 綿密な計画立案及び安全上のチェック
② 下見の実施とネイパル足寄職員との打ち合わせ
③ 計画の再点検
④ 参加者及びその保護者への計画の周知（事前説明会の実施など）
⑤ 傷害保険への加入
⑥ 救急医薬品の準備
⑦ 緊急体制の整備とその運用及び救急処置についてのリハーサル
⑧ 引率スタッフ全員での安全管理上の最終確認

５　実施中の安全管理

① 気象状況の把握（現在の状況・予報）
② 危険箇所の現状確認
③ 移動の際の安全管理
④ 参加者の人数及び健康状態の確認
⑤ 心身両面での弱者の把握
⑥ 引率者の配置と円滑な連絡
⑦ 指導者自身の安全管理と健康管理

６　万が一の時の対応

① 冷静に判断する。
② 無理をせず、自分自身の安全管理、確保を怠らない。
③ 事故者以外の人たちの安全を確保する。
④ 周囲の状況や事故者の様子を把握し、直ちに何をすべきか判断し、行動に移す。
⑤ 団体の責任者及びネイパル足寄への連絡は冷静に行い、状況によっては指示を仰ぐ。

７　最低限の応急処置

引率者は、切り傷・やけど・虫ささされ（ハチ）・熱中症、AED を使用した処置などの応急処置を全員ができるようにしてください。また、参加者にも年齢に応じて自分自身あるいは相互に応急処置ができるようにしておくとよいでしょう。

（資料３）

活動プログラム一覧

１ ネイパル足寄での活動

	ねらい・テーマ / 活動プログラム名	自然に親しむ機会にしたい	親睦を図りたい	人間関係を育みたい	環境問題への意識を育みたい	総合的な学習の時間の一環としたい	活動時間 ※人数により変動	一回の活動可能人数
⑴野外活動	野外炊飯		◎	◎	○	○	３～５時間	２００人
	ファイヤーストーム		◎	○			２時間程度	２００人
	ウッドキャンドル		◎	○	○		１時間半程度	１００人
	ウォークラリー	◎	◎	◎	○	○	１.５～３時間	
	サイクリング	◎		○		○	２～６時間	６０人
	パークゴルフ		◎				１～２時間	５０人
	自然散策	◎	◎		○	○	団体に応じて	
	イニシアチブゲーム		○	◎			団体に応じて	
	ナイトウォーク	◎		○	○	○	団体に応じて	
	原始火おこし体験		○	◎	◎		１～２時間	４０人
⑵冬季活動	歩くスキー	◎	○	○	○	○	１～２時間	８０人
	スノーキャンドル	○	○				１～２時間	５０人
	スノーシュー	◎	○	○	○	○	１～２時間	２０人
⑶館内活動	七宝焼					○	１.５～３時間	１００人
	陶　芸					○	２.５～３時間	４０人
	おがカラー				○		１～１.５時間	４０人
	フォトスタンド				○	○	２～３時間	４０人
	焼き板クラフト				○	○	２時間程度	４０人
	木の実クラフト	○					１～２時間	４０人
	羊毛クラフト				○	○	１～１.５時間	４０人
	マイ箸づくり				◎	○	１.５～２時間	５０人
	木のバッグタグ				○		１～１.５時間	２００人
	レジン工作					○	１～１.５時間	３０人
	ワックスボールづくり					○	１～１.５時間	４０人
	熊鈴づくり					○	１～１.５時間	４０人
⑷室内レク	ボッチャ		◎	○			団体に応じて	４０人
	キャンドルのつどい		◎	○			１～２時間	２００人
	モルック		◎	○			団体に応じて	５０人
	フロアカーリング		◎	○			団体に応じて	１チーム４~６人
	館内ウォークラリー		◎	○			１~２時間	１００人

※　体験プログラムは、引率者の方に「事前の打ち合わせ（来所）」と「当日の直接指導」をお願いしております。職員が指導を代行する場合もございますが、その際は準備や声掛けなどのサポートをお願いいたします。

※　上記の体験活動プログラムについての詳しい活動資料は、事前来所時等にお渡しいたします。

（1）野外活動詳細

プログラム	活動内容	活動時間（活動時期）	準備するもの		備　　考
			ネイパル	利用団体	
野外炊飯	仲間と協力しながら野外で食事を作る。	3～4時間（5～10月）	炊飯用具	うちわ、軍手、洗剤、スポンジ、金たわし、ふきん、マッチ、着火剤など	食材、木炭、薪、着火剤はネイパル足寄で購入可能（要事前注文）
キャンプ	テントを張り、野外で宿泊する。	団体に応じて（4～10月）	テント ・6人用 ・8人用 ロールマット 電池式ランタン （電池は団体で用意）	野外活動に適した服装、帽子、手袋、筆記用具、雨具、タオル、電池など	荒天時は館内で宿泊可能
ファイヤーストーム	火を囲み、ゲームや歌などで交歓する。	1～2時間（5～10月）	放送機器 着火用トーチ 軽油	音楽テープ・CD など	キャンプファイヤー薪ネイパル足寄で購入可能 1束 1,000 円
ウォークラリー	地図や問題用紙をたよりに仲間と協力しながらチェックポイントを探す。	1.5～3時間（4下旬～10月）	問題用紙 地図 ストップウォッチ	野外活動に適した服装、帽子、手袋、筆記用具、雨具、タオルなど	時間に合わせてコース設定可能
サイクリング	マウンテンバイクで自然を満喫するとともに、心地よい汗を流す。	2～6時間（4下旬～10月）	マウンテンバイク ・22インチ ・24インチ ・26インチ ・ヘルメット ・コマ図 (10・14Km コース)	野外活動に適した服装、帽子、手袋、雨具、タオルなど	時間や体力に合わせてコース設定可能
パークゴルフ	個人、グループなどで36ホールを楽しむ。	1～2時間（5中旬～10月）	クラブ ティー ボール スコアカード	運動靴、タオルなど	ネイパル足寄隣接2コースのほかに町内に6コース
自然散策	自然の中を動植物を観察しながら歩き、自然に親しむ。	団体に応じて（通　年）	周辺地図 双眼鏡 虫取り網	野外活動に適した服装、帽子、手袋、筆記用具、雨具、タオルなど	冬期間もスノーシューを使って活動可能
イニシアチブゲーム	信頼形成や課題解決型のゲームを通して、自分自身や仲間について考える。	団体に応じて（通　年）	バンダナ ロープ フラフープなど	筆記用具など	時間に合わせて内容設定可能（要相談）
ナイトウォーク	真っ暗闇の中で、夜の自然と静寂を体験する。	団体に応じて（4～10月）	周辺地図 星座早見表 ヘッドライト(単3電池2～4本必要)	野外活動に適した服装、帽子、手袋、懐中電灯など	時間に合わせてコース設定可能
原始火おこし体験	まいぎり式の原始的な火おこしを体験する。	1～2時間（5～10月）	火きり板、敷き板、麻布、麻紐、ろうそく、ランプ　等	軍手	

（2）冬季活動詳細　※活動に合わせて各自防寒対策（帽子、手袋、ネックウォーマー、カイロ等）をしてください。

プログラム	活動内容	活動時間（活動時期）	準備するもの		備　　考
			ネイパル	利用団体	
歩くスキー	冬の大自然を歩くスキーで散策する。	1～2時間（雪のある時期のみ）	歩くスキーセット スパッツ(きゃはん)	雪の中で運動できる服装、帽子、手袋など	会場までの移動方法の確保が必要。（施設周辺の場合は不要） ※事前に参加者の靴のサイズと身長をお知らせください。
スノーシュー	雪深い道を自由に散策し、冬の自然に触れる。	1～2時間（雪のある時期のみ）	スノーシュー ストック	雪の中で運動できる服装、帽子、手袋など	自分の履いている靴にベルトでスノーシューをセットして使用します。
そり遊び	雪の斜面をソリやゴムチューブで滑る。	1時間程度（雪のある時期のみ）	そり ヘルメット スパッツ(きゃはん)	雪の中で運動できる服装、帽子、手袋、長靴など	雪国の代表的なアクテビティ。
スノーキャンドル	バケツに雪と水をつめて作る方法のほかに雪の固まりをスコップやハンディのこぎりで削って作る方法もある。	1～2時間（1～3月）	バケツ ハンディのこぎり スコップ 移植ごて	ろうそく	雪の状況に応じてネイパル足寄職員が会場を指定します。

（3）館内活動詳細

プログラム	活動内容	活動時間（活動時期）	準備するもの		備　　考
			ネイパル	利用団体	
七宝焼	ガラスの粉を銅板に盛り、８００℃の窯で焼いてキーホルダーを作る。	2～3時間（通　年）	用具一式 七宝焼窯	材料費	窯は高熱になりますので、必ず指導（引率）者が取り扱いをしてください。
陶　芸 （2人用1セット）	カップ、湯のみなどのオリジナル作品を作る。	2.5～3時間（通　年）	用具一式	材料費	完成までに３～４ヶ月ほどかかります。（完成した作品は取りに来ていただくか着払いでの発送となります。）
おがカラー	１３色のおがくずを絵の具がわりに使いオリジナルのハガキを作る。	1～1.5 時間（通　年）	用具一式	材料費	
焼き板クラフト	松板の表面をガスバーナーで焦がし、木目を生かした壁掛けやルームプレートを作る。	2～3時間（通　年）	用具一式 顔料マジック	材料費 筆記用具 ※冬季は暖かい服装	ガスバーナーを使うので、必ず指導（引率）者がついてください。
フォトスタンド	松板の表面をガスバーナーで焦がし、木目を生かした写真立てを作る。	2～3時間（通　年）	用具一式	材料費 筆記用具 ※冬季は暖かい服装	ガスバーナーを使うので、必ず指導（引率）者がついてください。
木の実クラフト	木の実を使ってオリジナルのメモスタンドや置物を作る。	1～2時間（通　年）	ボンド、台座、木の実 用具一式	材料費	
羊毛クラフト	羊毛とアルカリ液を使ってコースターなどを作る。	1～1.5 時間（通　年）	用具一式	材料費	
マイ箸づくり	カラマツ材でマイ箸と箸置きを作る。	1.5～2.5 時間（通　年）	用具一式	材料費 軍手など	
木のバッグタグ	スライスした木材でカバンなどにつけるネームタグを作る。	1～1.5 時間（通　年）	用具一式	材料費 軍手など	
レジン工作	レジン液を UV ライトで固め、オリジナルのキーホルダーを作成する	1～1.5 時間（通　年）	用具一式	材料費	
ワックスボールづくり	水風船を型にしてロウを重ね、キャンドルホルダーを作る。	1～1.5 時間（通　年）	用具一式	材料費	高温でロウを溶かすため、必ず指導（引率）者がついてください。
熊鈴づくり	紐を編んでオリジナルの熊鈴を作る。	1～1.5 時間（通　年）	用具一式	材料費	

（4）室内レクリエーション詳細

プログラム	活動内容	活動時間 （活動時期）	準備するもの		備　　考
			ネイパル	利用団体	
キャンドルのつどい	ロウソクの火を囲んで行うつどい。	1～2時間 （通　年）	手持ち燭台 中央燭台 ブルーシート	プログラム進行計画 音楽など	ロウソクはネイパル足寄で購入可能（要事前注文）
フロアカーリング	4人 1 チームで行う室内カーリング。	団体に応じて （通　年）	フロアカーリングセット	対戦表など	事前にチーム分けしておくと活動がスムーズです。
館内ウォークラリー	1 枚の地図を頼りに仲間と協力し合い、さまざまなポイントを見つけて課題を解決する。	1～1,5 時間 （通　年）	質問カード 館内地図		事前にチーム分けしておくと活動がスムーズです。
ボッチャ	各チーム6球ずつのボールをいかにジャックボールに近づけられるかを競う。	団体に応じて （通　年）	ボッチャセット	対戦表など	事前にチーム分けしておくと活動がスムーズです。

（5）その他の活動

- プレイホールでミニバレー、バドミントン、バレーボール、卓球、バスケットボール、長縄、つな引きなど
- 屋外でフライングディスクゴルフやパークゴルフなど
- 花火（用具は団体で用意）は手持ち花火のみ実施可。実施場所は集いの広場横のアスファルト部分のみとなります。

2　周辺エリアでの活動

ねらい・テーマ / 活動プログラム名	自然に親しむ機会にしたい	親睦を図りたい	人間関係を育みたい	環境問題への意識を育みたい	総合的な学習の時間の一環としたい	ネイパル職員による指導	活動時間 ※人数により変動
登山	◎	○	○	○	○	×（外部講師の紹介）	6～9時間
オンネトーハイキング	◎	○	○	○	○	×（外部講師の紹介）	2～6時間
足寄動物化石博物館		◎	○			×	内容による
陸別町銀河の森天文台	◎		○		○	×	内容による
スキー・スノーボード	○					×	内容による

※ 移動手段は利用団体で手配してください。

活動内容詳細

プログラム		活動内容	活動時間（活動時期）	準備するもの		備　考
				ネイパル	利用団体	
登山	雌阿寒岳	阿寒湖やオンネトーも見渡せます。	5～7時間 ※移動時間含む（6～9月）	周辺地図	入林許可 個人の装備 救急セット、トランシーバーなど	ネイパル足寄から車で約1時間
	雄阿寒岳	阿寒国立公園が一望できます。	7～9時間 ※移動時間含む（6～9月）	周辺地図	入林許可 個人の装備 救急セット、トランシーバーなど	ネイパル足寄から車で約1時間30分
	白雲山・天望山	然別湖と十勝平野が一望できます。	6～9時間 ※移動時間含む（6～9月）	周辺地図	入林許可 個人の装備 救急セット、トランシーバーなど	ネイパル足寄から車で約1時間30分
	白湯山	阿寒国立公園が一望できます。	6～9時間 ※移動時間含む（6～9月）	周辺地図	入林許可 個人の装備 救急セット、トランシーバーなど	ネイパル足寄から車で約1時間30分
オンネトーハイキング		神秘の湖の周辺を動植物を観察しながら歩きます。	2～6時間 ※移動時間含む（5～10月）	周辺地図	個人の装備 救急セットなど	ネイパル足寄から車で約1時間 時間や体力に合わせてコース設定可能
足寄動物化石博物館 (0156-25-9100)		○化石のお話 ○博物館解説付き見学 ○化石クリーニング体験 ○化石レプリカ作り など	内容による（通　年）		入館料および体験にかかる費用	ネイパル足寄から3.5㎞ 車で10分、徒歩40分 ※人数が多い場合は要予約
陸別町 銀河の森天文台 (01562-7-8100)		公開天文台としては日本有数の大きさの望遠鏡での星空観察。	内容による（通　年）		入館料	ネイパル足寄から車で約45分 ※人数が多い場合は要予約
スキー スノーボード		パウダースノーを満喫。	内容による（1～3月）		リフト代などの費用 スキー・スノーボード用具・ウエア	ぬかびら源泉郷スキー場・阿寒湖畔スキー場などどちらもネイパルから車で約1時間 ※人数が多い場合のレンタルは事前確認が必要

※ 移動手段は利用団体で手配してください。

３　足寄町総合運動施設での活動

施設名	活動例	徒歩移動時間	合宿利用
パークゴルフ場	パークゴルフ	隣接	施設の占有使用はできません。
足寄町ときわサッカー場	サッカー ヨサコイ　など	隣接	◎ ※水曜日は利用不可
足寄町総合体育館	バスケットボール、卓球 バレーボール、バドミントンなど	２０分	◎ 体育館の使用は半面となります。
足寄町生涯学習館体育館	卓球 ミニバレーボールなど	３０分	◎
足寄町営野球場	野球	２０分	◎
自由広場（運動広場）	ソフトボール ヨサコイ　など	２０分	◎
テニスコート	軟式テニス 硬式テニス	２０分	◎
陸上競技場	陸上競技各種	２０分	◎
弓道場	弓道	２０分	◎
体育武道場	柔道、空手	２０分	◎
足寄町温水プール	水泳	２０分	◎
屋外アイススケート場	スピードスケート	２０分	◎
里見が丘スキー場	スキー	５０分	◎
総合体育館トレーニング室	基礎体力づくり	２０分	◎

※ 各施設はご利用の３ヶ月前から予約可能です。

※ 利用希望の場合は、ネイパル足寄の予約申込みの際にその旨をお伝えください。（希望日時・使用物品・人数など）

※ 総合運動施設や足寄町生涯学習館の利用予約、空き状況や使用料については、直接、足寄町総合体育館（0156-25-3191）、足寄町町民センター（0156-25-3188）にお願いします。

（資料４）

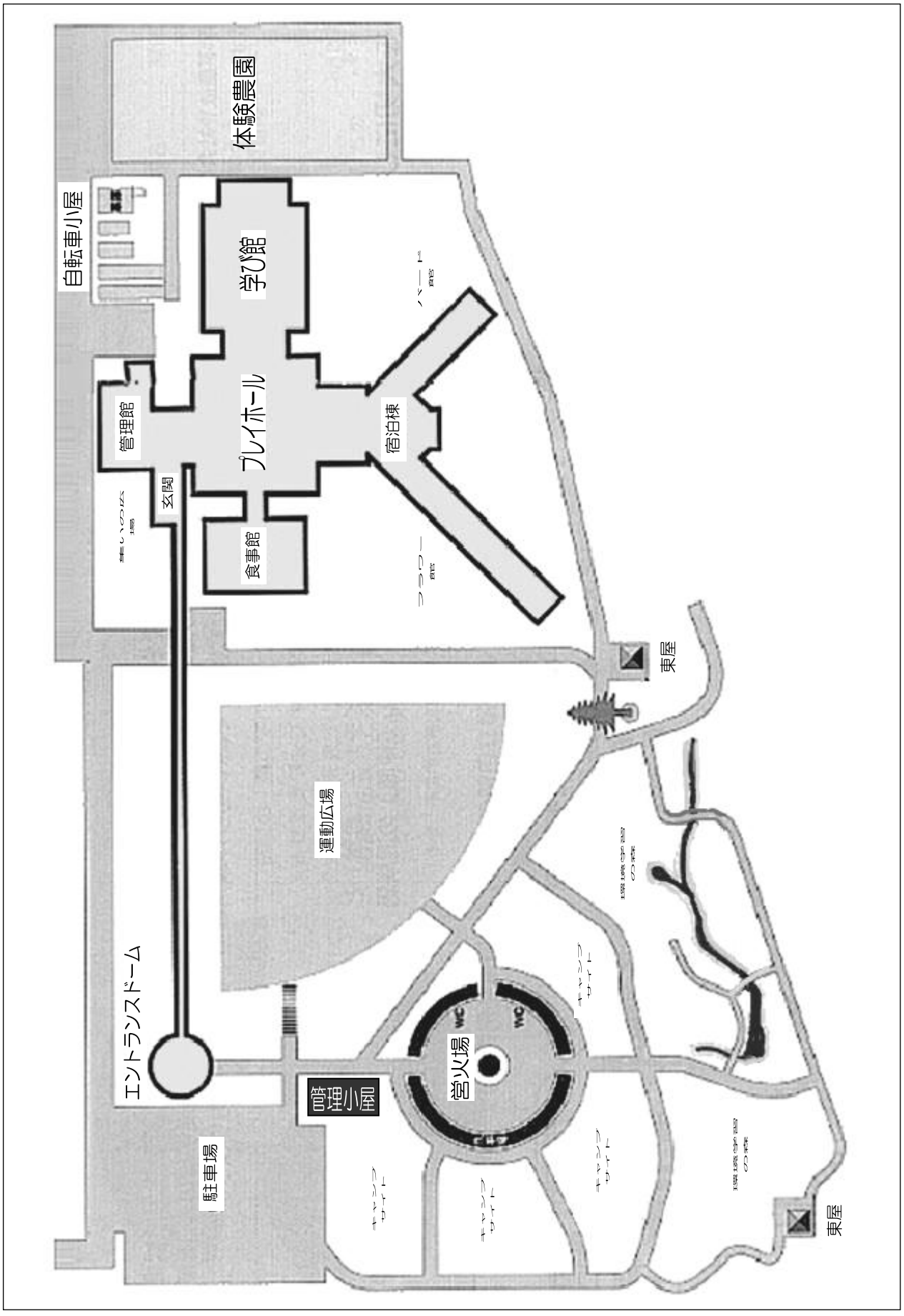
周辺の主な施設

※概要は変更になっている場合があります。詳細は各施設や管轄する部署に直接お問い合わせください。

分野	施　設　名	所　在　地	施設の概要	ネイパル足寄からの距離
スポーツ施設	自由広場（運動広場）	足寄町里見が丘公園	ソフトボール２面、クラブハウス、夜間照明	2.3 ㎞
	屋外アイススケート場	〃	１周 400m、夜間照明	2.3 ㎞
	総合体育館	〃	アリーナ、第２体育館、トレーニングルーム	2.1 ㎞
	温水プール	〃	25m公認8コース、ウォータースライダー、健康プール	2.2 ㎞
	野 球 場	〃	両翼 91m、収容人数 7,750 人	2.3 ㎞
	テニスコート	〃	３面、夜間照明	2.5 ㎞
	陸上競技場	〃	400mトラック他（多目的使用可）	2.3 ㎞
	弓 道 場	〃	６射、遠的場 60m	2.5 ㎞
	スキー場	〃	全長 200m、夜間照明	4.4 ㎞
	体育武道館	〃	道場、更衣室	2.8 ㎞
	サッカー場	足寄町常盤	サッカーコート１面	隣　接
	糠平源泉郷スキー場	上士幌町糠平７５	全長 4,300m、高速リフト３基、夜間照明	50 ㎞
	阿寒湖畔スキー場	釧路市阿寒湖畔	上級コース 1,200m、初・中級コース 900m、ペアリフト１基、夜間照明	53 ㎞
野外活動	キャンプ場	足寄町里見が丘公園	バンガロー、バーベキューハウス、炊事場	4.6 ㎞
	オンネトーキャンプ場	足寄町茂足寄	炊事場、営火場　収容人数 500 人	50 ㎞
	雌阿寒岳	足寄町茂足寄	標高 1,499m、所要時間１時間（片道）	50 ㎞
	雄阿寒岳	釧路市阿寒湖畔	標高 1,370m、所要時間１時間（片道）	56 ㎞
	白 湯 山	釧路市阿寒湖畔	標高　950m、所要時間１時間（片道）	60 ㎞
	白 雲 山	然別湖周辺	標高 1,187m、所要時間１時間 30 分（片道）	80 ㎞
	天 望 山	然別湖周辺	標高 1,174m、所要時間１時間 30 分（片道）	80 ㎞
公共施設	足寄町郷土資料館	足寄町中足寄 43-12	展示室（収蔵資料約 600）	10 ㎞
	足寄動物化石博物館	足寄町郊南１丁目	展示室、視聴覚室、資料室など	3.5 ㎞
	陸別町銀河の森天文台	陸別町ウエンベツ	大型望遠鏡１、小型望遠鏡４	40 ㎞
	足寄町民センター	足寄町南１条５丁目	研修室、多目的ホール、図書室、視聴覚室	2.1 ㎞
	道の駅あしょろ銀河ホール21	足寄町北１条１丁目	ホール、レストラン、おみやげコーナー、ギャラリー	1.3 ㎞
	親水広場	足寄町里見が丘公園	アスレチック、池、東屋など	0.3 ㎞
	足型工房	足寄町北１条１丁目	足型採取施設	1.3 ㎞
パークゴルフ場	ときわコース	足寄町常盤	18 ホール、パー66、夜間照明（徒歩移動：１分）	隣　接
	ときわ東コース	足寄町常盤	18 ホール、パー66、夜間照明（徒歩移動：１分）	隣　接
	里見グリーンヒルコース	足寄町里見が丘公園	18 ホール、パー66、夜間照明（徒歩移動：２０分）	2.3 ㎞
	里見ウェストヒルコース	足寄町里見が丘公園	18 ホール、パー66（徒歩移動：２０分）	2.4 ㎞
	銀河コース	足寄町上利別駅前	18 ホール、パー66、夜間照明（車での移動）	14 ㎞
	芽登コース	足寄町芽登	18 ホール、パー63（車での移動）	15 ㎞
	シラカバコース	足寄町南１条５丁目	18 ホール、パー３０（徒歩移動：２０分）	2.2 ㎞
	大誉地コース	足寄町大誉地本町	18 ホール、パー６６（車での移動）	２４㎞

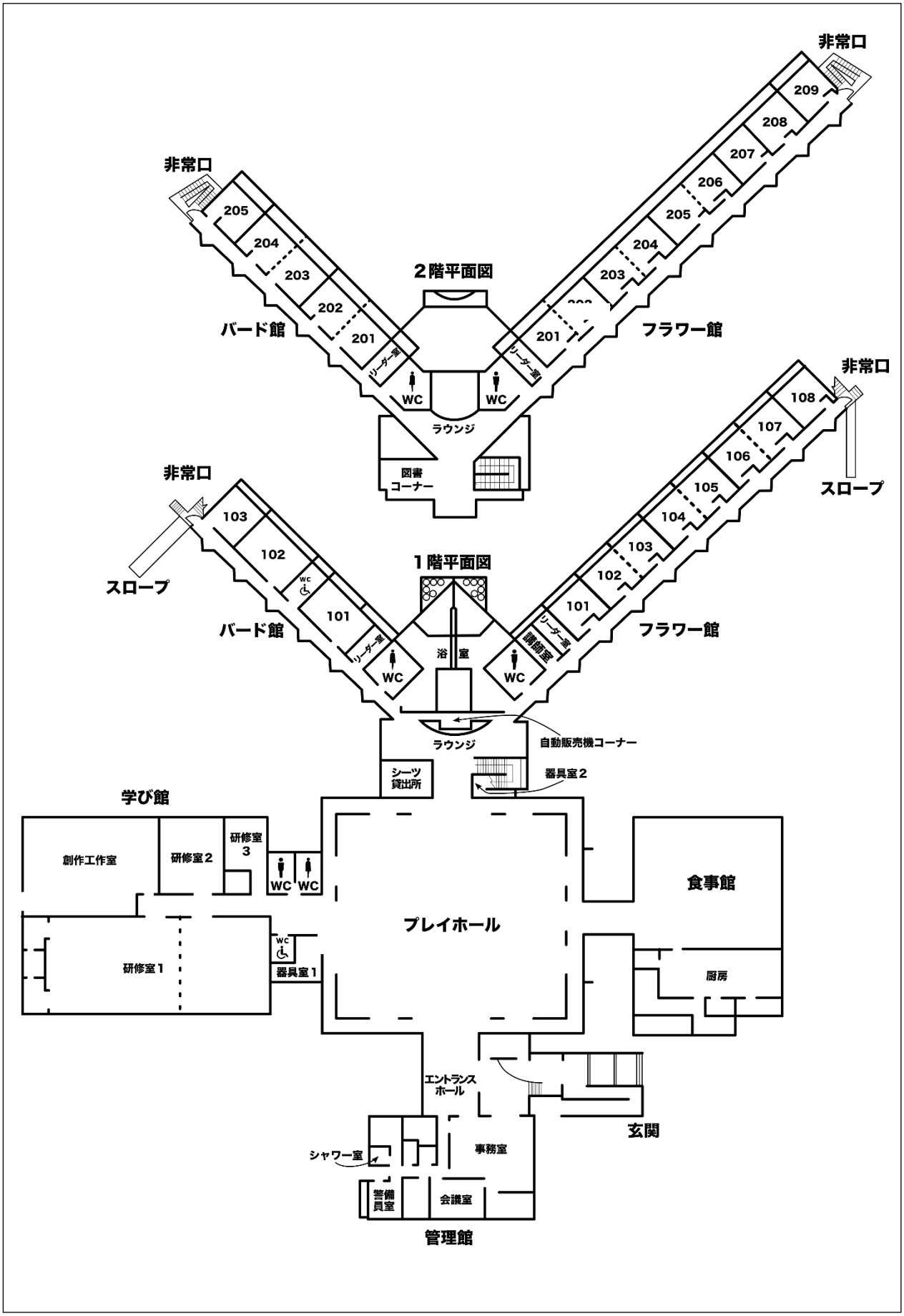
（資料５）

施設配置図


体験農園
自転車小屋
学び館
プレイホール
管理館
玄関
食事館
宿泊棟
運動広場
エントランスドーム
駐車場
管理小屋
営火場
WC
WC
東屋
東屋

（資料６）

館内見取図


非常口
209
208
207
206
205
204
203
非常口
205
204
203
202
201
２階平面図
バード館
201
フラワー館
リーダー室
リーダー室
WC
WC
ラウンジ
図書
コーナー
非常口
108
107
106
105
104
103
102
101
スロープ
非常口
103
102
スロープ
１階平面図
WC
101
バード館
リーダー室
浴室
WC
調節室
リーダー室
フラワー館
WC
ラウンジ
自動販売機コーナー
シーツ
貸出所
器具室２
学び館
創作工作室
研修室２
研修室
3
WC
WC
食事館
プレイホール
研修室１
WC
器具室１
厨房
エントランス
ホール
玄関
シャワー室
事務室
警備
員室
会議室
管理館

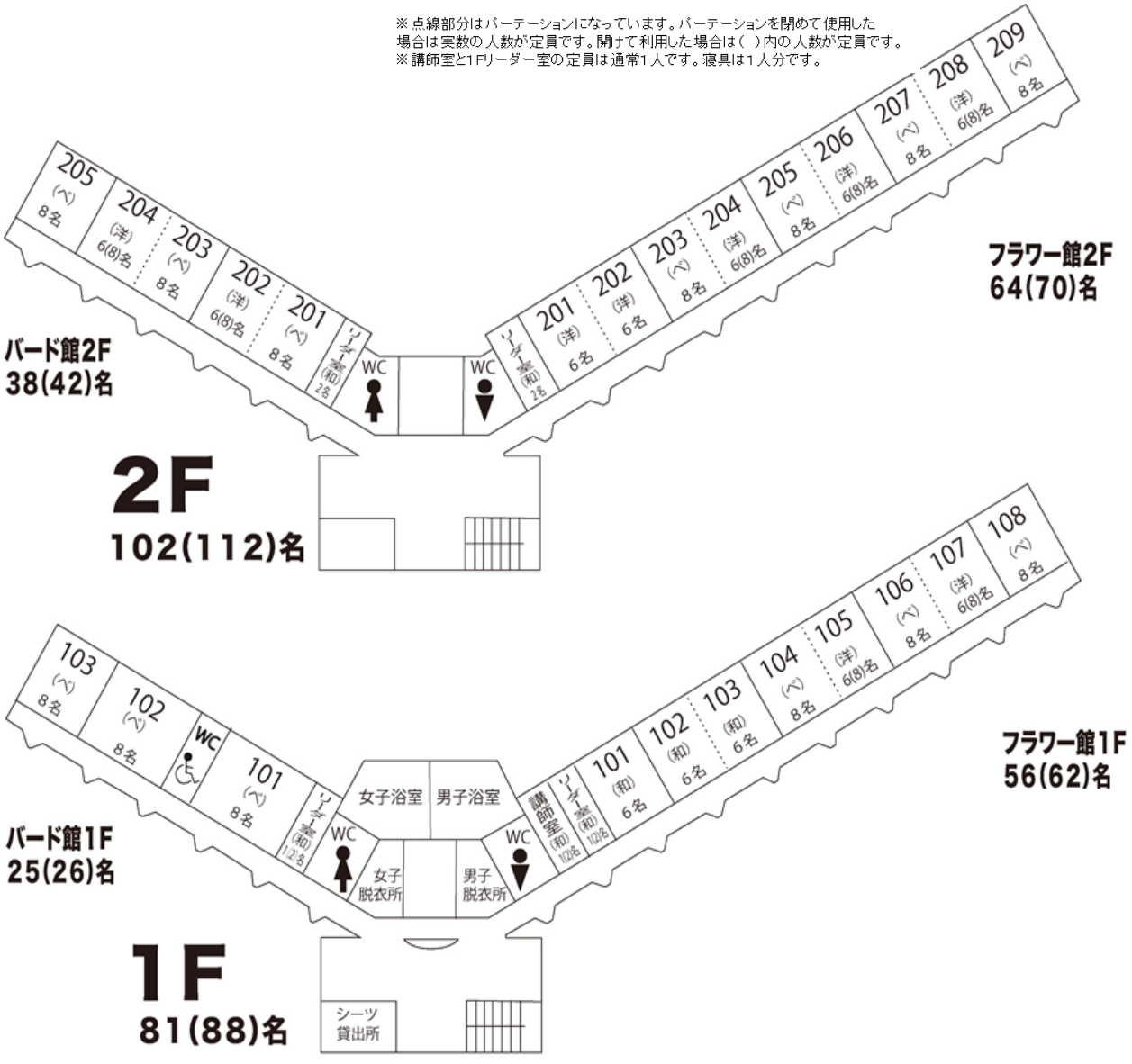
（資料７）

宿泊配置図

		宿　泊　室	定員	男	女
１Ｆ	フラワー館	講師室（和室）	1(2)		
		リーダー室（和室）	1(2)		
		１０１（和室）	6		
		１０２（和室）	6		
		１０３（和室）	6		
		１０４（２段ベッド）	8		
		１０５（洋室）	6(8)		
		１０６（２段ベッド）	8		
		１０７（洋室）	6(8)		
		１０８（２段ベッド）	8		
		計	56(62)		
	バード館	リーダー室（和室）	1(2)		
		１０１（1段ベッド6、畳ベッド2）	8		
		１０２（1段ベッド6、畳ベッド2）	8		
		１０３（２段ベッド）	8		
		計	25(26)		
	１Ｆ 合計		81(88)		
合　計			183(200)		

		宿　泊　室	定員	男	女
２Ｆ	フラワー館	リーダー室（和室）	1(2)		
		２０１（洋室）	6		
		２０２（洋室）	6		
		２０３（２段ベッド）	8		
		２０４（洋室）	6(8)		
		２０５（２段ベッド）	8		
		２０６（洋室）	6(8)		
		２０７（２段ベッド）	8		
		２０８（洋室）	6(8)		
		２０９（２段ベッド）	8		
		計	64(70)		
	バード館	リーダー室（和室）	1(2)		
		２０１（２段ベッド）	8		
		２０２（洋室）	6(8)		
		２０３（２段ベッド）	8		
		２０４（洋室）	6(8)		
		２０５（２段ベッド）	8		
		計	38(42)		
	２Ｆ 合計		102(112)		

※点線部分はパーテーションになっています。パーテーションを閉めて使用した場合は実数の人数が定員です。開けて利用した場合は（ ）内の人数が定員です。
※講師室と1Fリーダー室の定員は通常1人です。寝具は1人分です。



（資料８）

館内設備案内

１　宿泊施設

施設名			定数	宿泊室数	内訳
館内	１階	フラワー館	２００人	１０室	講師室１、リーダー室１ 和室３、洋室２、ベッド室３
		バード館		４室	リーダー室１ ベッド室３（うちバリアフリー２）
	２階	フラワー館		１０室	リーダー室１、洋室５、ベッド室４
		バード館		６室	リーダー室１、洋室２、ベッド室３
屋外	キャンプサイト		２００人		

※屋外テントは同居家族の方のみご利用可能です。ご利用の方は 20 日前までに施設までご予約をお願い致します。

２　生活関連施設

施設名	内訳
食事館	同時最大食事人数 90 名程度
浴室	2室（蛇口９・脱衣棚２０）
シーツ貸出所	宿泊棟１階
ラウンジ	宿泊棟１階・２階
点字ブロック	ポーチ～玄関
手すり・車椅子ずり	１階回廊
非常口スロープ	宿泊棟１階　２ヶ所
多目的トイレ	学び館・バード館１階の２ヶ所 オストメイト対応　ベビーベッド付
触地図使用館内板	エントランスドームおよび玄関に設置

３　野外活動施設

施設名	内訳
野外炊飯場	１箇所（200 人定員）
営火場	１箇所
キャンプ場管理小屋	１棟
体験農園	１箇所

４　学び館（研修棟）

部屋名	定数	付属設備等
研修室１	２００人	CD ラジカセ、スクリーン、プロジェクター、DVD プレイヤー、移動テレビセット（レーザーディスク、DVD プレイヤー）テーブル５０、椅子２０５、ワイヤレスマイク２ ※間仕切り壁をすると２室として使用可能
研修室２	３０人	テーブル１２、椅子３５
研修室３	２０人	和室１０畳、折りたたみテーブル１０、座布団２１
創作工作室	５０人	陶芸用具、七宝焼用具、木工用具、工作台８、椅子５３

５　体育・スポーツ施設

部屋名	付属設備等
プレイホール	バスケットボールコート１面、バレーボールコート１面、バドミントン兼ミニバレーコート２面、卓球台２台など
運動広場	集会用放送設備、フライングディスクゴルフなど
集いの広場	集会用放送設備、国旗・道旗・所旗掲揚塔など